



## さあ、夏休み “好き”をふやそう

校長 渡邊 正博

ぼくたちは、校長先生に兼山小をどんな学校にしたいかインタビューしました。校長先生は、「豊かな心と確かな学びを身につけたたくましい子が育つ学校」にしたいと言っていました。なんと、兼山小は150年以上続いているそうです。次に、校長先生が私たちについて思うことについて聞いたら、「自分のことを“好き”になってほしい。」と言っていました。「何かができる自分も、できない自分も、全部ひっくるめて好きになってほしいです。」と言っていました。兼山小の児童の印象を訊いてみたら「どんなことにも一生懸命なところが好き。」と言っていました。そして、付け加えに「本も好きになってほしいな。」と言っていました。

ぼくたちも、自分を好きになったり、本を好きになったりして、好きをふやしたいですね。(4年生作「先生新聞」より 一部漢字にするなど筆者校正)

4年生が国語の学習の一環で新聞づくりに取り組みました。取材で話した通りに文字にされていて、4年生の記憶力・記録力に驚きました。ここで解説は加えません。心から、自分のことが“好き”と胸を張れる人に育って欲しいと願っています。

7月5日に八百津立久田見小学校との音楽交流会を久田見小にて行いました。詳しくは7月5日、9日の学校HPを訪問ください。金管バンドとトランペット鼓隊の合同合奏は、保護者・地域の方々の胸に響きました。子ども達自身も、音楽を通じた感動を味わうことができました。さらに、各学年での交流の時間を設けました。自己紹介から始まり、久田見小の児童がホストとしてレクリエーションを進行しました。笑顔いっぱいです。出会いを満喫しました。そしてお弁当タイム。私の事前取材では、この行事における子どもたちのお楽しみ第1位は演奏を大勢の人に聴いてもらえること、第2位は一緒に演奏できること、第3位がお弁当(好きなおかず=愛情いっぱい)。また会いたい！来年も一緒に演奏したい！という思いが膨らむ時間となりました。

さあ、夏休みです。子どもたち、やってみたいことに挑戦して“好き”をふやしましょう。ここで宿題です。休み明けに、「どうして好きをふやすことができたの？」と質問します。あなたの答えを聴かせてください(第2回全校道徳!?)。保護者、地域の皆様、本校の教育活動へのご理解ご協力、ありがとうございました。「食費・電気代が増える夏休み」ではありますが、子どもと一緒に過ごす時間は貴重です。未来の宝物です。10年後・20年後に、今年の夏を思い出すことがあるでしょう。その時、ふっと微笑んじゃうような素敵な経験が心に刻まれていたらいいと思います。

【久田見小交流会】

